

## ■■ 研究成果発表会を開催 ■■

10月2日に当センターで令和2年度研究成果発表会を開催し、56名の参加がありました。

今年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会場の人数制限、口頭発表者の前にアクリル板を設置する等の対策を講じて開催しました。

県内企業との共同研究成果や令和元年度に終了した研究の成果など、口頭6テーマ、ポスター11テーマの発表を行いました。

参加者からは、研究成果(成果に基づいてつくられた試作品等)や実験内容に関心が寄せられ、質問や意見交換が行われました。

なお、発表会の概要をまとめた予稿集については、当センターのホームページ(刊行物)に掲載しておりますので、ご覧ください。

<https://www.kagoshima-it.go.jp/?page.id=32079>

スマートフォン等からはこちら→



口頭発表の様子



ポスター発表の様子



受付の様子

## ■■ ものづくりIoT研究会を開催 ■■

9月15日に当センターにおいて、ものづくりIoT研究会を開催し、20名の参加がありました。

今回は、RPA(ロボティクス・プロセス・オートメーション)について基本的な説明から実際にプログラムを組む実技まで、事務作業の自動化や自社で作れるRPAをコンセプトに講演を行いました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、少人数での開催となりましたが、参加者は熱心に実技に取り組んでいました。



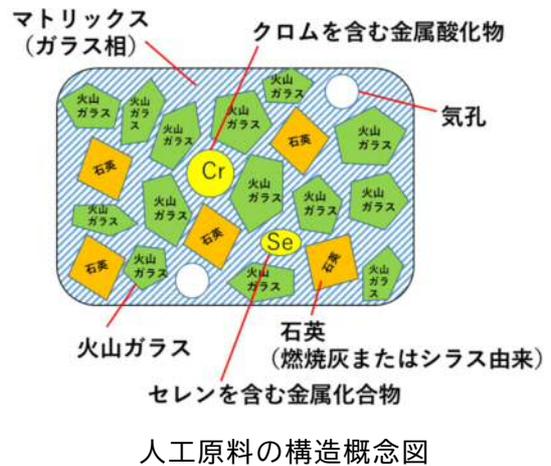
研究会の様子

## ■ ■ 特許登録「人工原料の製造方法, 人工原料, 及び粉体組成物」 ■ ■

(特許第6707740号)

県と鹿児島大学で平成28年9月20日に特許出願した「人工原料の製造方法, 人工原料, 及び粉体組成物」が, 6月18日に特許登録されました。

本発明は, 木質バイオマス発電などで発生する燃焼灰と粉末状に粉碎したシラスをバインダーを使って成形し, 高温で焼成する人工原料の製造方法, 人工原料及び粉体組成物を提供するものです。木質燃焼灰をシラスやバインダーのガラス相のマトリックスで覆うことで, 燃焼灰に含まれる六価クロムやセレンなどの重金属の溶出を環境省の土壤環境基準で規定する基準値内に収まるようにすることができました。これにより, コンクリート用骨材, 路盤材料, 土工材料, 建築資材などへの工業製品の活用が期待されます。



人工原料の成形例

### <表紙の説明>

桜島溶岩を, 真空プラズマ技術を用いて薄くコーティングする技術確立しました。表紙は, 金属クリップの表面にコーティング処理したもので, 桜島溶岩の構造色により虹色に輝いて見えます。コーティング膜の厚さは約 $1\mu\text{m}$ で, 金属以外にも, ガラス, 繊維などへもコーティングできます。

素材の質感を活かしたまま, 赤外線効果や親水性を付与できるため, 新たな付加価値として様々な分野で利用されることが期待されています。



## 鹿工技ニュース No.131

2020年10月号(年4回発行)

<https://www.kagoshima-it.go.jp>

【発行元/問い合わせ先】

鹿児島県工業技術センター 鹿工技ニュース等編集委員会

〒899-5105 鹿児島県霧島市隼人町小田1445-1

TEL 0995-43-5111 FAX 0995-64-2111 (禁無断転載)

